

学術論文	・論文（査読のあるもの。学会などの抄録などは除く） ・本学学生が著者に含まれているものは赤字で記載 ・2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載
(論文) 1 2 3 4	川井真好. 蛍光染色法を用いた微生物迅速測定法による医薬品の微生物管理. 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス. 42(3), 191-197, 2011. 川井真好. 自然環境中のストレスで強くなる細菌. ファルマシア. 46(11), 9-10, 2010. <u>Kawai M</u>, and Yamagishi J. Mechanisms of Action of Acriflavine: Electron Microscopic Study of Cell Wall Changes Induced in <i>Staphylococcus aureus</i> by Acriflavine. 53, 481-486, 2009. <u>Kawai M</u>, Yamada S, Ishidoshiro A, Oyamada Y, Ito H, and Yamagishi J. Cell Wall Thickness: Possible Mechanism of Acriflavine Resistance in Methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i>. <i>J. Med. Microbiol.</i>, 58(Pr3), 331-336, 2009. 2006 年以前 7 報 用紙不足の場合はページを追加してください。

著書	著書（2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載。）
(著書) 1 2 3 4	第 16 改正 図説日本薬局方微生物試験法の手引き 川井真好他 文教出版 215-223, 2012. (分担執筆) 製薬用水の品質管理と設備/設計のバリデーションのノウハウ集 川井真好他 技術情報協会 152-167, 2011. (分担執筆) 公衆衛生学Ⅰ 川井真好他 近大姫路大学教育学部通信教育課程, 74-84, 116-120, 121-127, 2010. (分担執筆) 公衆衛生学Ⅱ 川井真好他 近大姫路大学教育学部通信教育課程 34-70, 2010. (分担執筆) 2006 年以前 0 報

学会発表等	・2007 年以降における招待講演演者やシンポジスト ・2007 年以降における国際学会（国内外での開催を問わない）のうち<u>発表者</u>であるもの（共同研究者の場合は除く） ・2007 年以降における<u>本学学生</u>が<u>発表者</u>となっている学会発表（学生が共同研究者の場合は除く）
(招待講演)	
1	サイエンスカフェはりま 「環境でたくましく生きる微生物」(兵庫) 2013 年 11 月
2	薬事エキスパート研修 「蛍光染色による細菌数の迅速測定法－微生物管理への応用と関連事項－」(東京) 2010 年 7 月
3	第 3 回姫路食品技術研究会 「水の衛生微生物管理」(兵庫) 2009 年 5 月
4	第 2 回西播・姫路医療セミナー 「微生物迅速測定法と医薬品の微生物管理」(兵庫) 2008 年 4 月
(国際学会)	
1	Resistance Mechanism of Triclosan in Staphylococci. <u>M. Kawai</u> , J. Yamagishi. 114 th General Meeting of the American Society for Microbiology, May 17- 20, 2014, Boston, USA.
2	Possible Mechanisms of Cell Wall Thickness induced in <i>Staphylococcus aureus</i> by Quaternary Ammonium Compounds of antiseptic agents. <u>M. Kawai</u> , S. Yamada, K. Morikawa, J. Yamagishi. 111 th General Meeting of the American Society for Microbiology, May 21- 24, 2011, New Orleans, USA.
3	Antiseptic Susceptibility and Morphological Changes for Metallo-Beta-Lactamase NDM-1-Producing Multidrug-Resistant <i>Escherichia coli</i> . <u>M. Kawai</u> , K. Okuzumi, A. Hishinuma, S. Yamada, K. Fukutsuji, J. Yamagishi. International Union of Microbiology Societies 2011 Congress, Sep 6-10, 2011 Sapporo, Japan
(学生発表)	
1	蛍光染色を用いた細菌数迅速測定法の固形医薬品原料への適用. <u>藤尾実穂</u> , <u>佐野彩香</u> , 更家信, 山口進康, 川井真好. 日本薬学会第 134 年会 2014 年 3 月 27-30 日 (熊本)
2	蛍光染色法による細菌数測定法の医薬品原料への適用. <u>佐野彩香</u> , <u>藤尾実穂</u> , 更家信, 山口進康, 川井真好. 第 63 回日本薬学会近畿支部総会・大会 2013 年 10 月 12 日 (京都)
3	蛍光染色を用いた細菌数測定法の多様な医薬品への適用. <u>佐野彩香</u> , 山口進康, 川井真好. 日本薬学会第 133 年会 2013 年 3 月 27-30 日 (横浜)
4	ブドウ球菌属のトリクロサン抵抗性メカニズム. <u>駒津和葵</u> , 山岸純一, 川井真好. 第 86 回日本細菌学会総会 2013 年 3 月 18-20 日 (千葉)

助成金・特許	・2007 年以降に交付された競争的資金（研究助成金の名称と種別、課題、交付年度、代表者・分担者の別） ・2007 年以降の特許
(競争的資金)	
1	平成 25 年度，平成 26 年度 姫路獨協大学特別研究助成金 「環境中に生息するブドウ球菌属の消毒薬抵抗性とバイオフィルム形成への影響」 2013 年 4 月～2015 年 3 月 研究代表者
2	平成 25 年度 姫路市産学協同助成金事業 「姫路市植生植物由来の野生酵母を用いた地酒の開発」 2013 年 研究代表者
3	平成 24～26 年度 厚生労働科学研究費補助金 「医薬品の微生物学的品質確保のための高度試験法導入に関する研究」 2012 年 4 月～2015 年 3 月 研究協力者
4	平成 24～26 年度 科学研究費補助金 基盤研究 (C)「アシネトバクター属のキノロン薬耐性メカニズムの解明と新規創薬ターゲットの検索」 2012 年 4 月～2015 年 3 月 研究分担者
5	平成 21～23 年度 科学研究費補助金 基盤研究 (A)「On-site 細菌モニタリングシステムによる東南アジアの水環境の高精度衛生微生物学的評価」 2009 年 4 月～2011 年 3 月 研究分担者
6	公益法人 クリタ水・環境科学財団 平成 22 年度研究助成金 「浄水中に生息する非結核性マイコバクテリウム」 2010 年 10 月～2011 年 9 月 研究代表者

社会活動	2007 年以降の社会における活動等（学会や公的機関の委員や役職など。ただし、学内や学園内の委員・役職などは除く） 2007 年以降のその他の社会活動（教育機関や公的機関における講演依頼など）
(社会活動)	大阪大学大学院薬学研究科 招へい准教授 平成 24 年 5 月～現在 「環境中の微生物と化学物質」についての教育講演 平成 21 年 6 月 近畿職業能力開発大学校 「製薬企業における製品の微生物管理」についての教育講演 平成 22 年 1 月 大阪大谷大学 薬学部 「製薬企業における製品の微生物管理の現状と課題」についての教育講演 平成 22 年 5 月、23 年 5 月、24 年 5 月、25 年 5 月 大阪大学大学院薬学研究科

賞	2007 年以降に受賞した賞
	特になし